



ま い た

平成30年度

11月号

平成30年10月31日

<http://www.educity.yokohama.jp/sch/es/mata/>

やさしさいっぱい 蒔田っ子

～久良岐公園・全校ハイキングを通して～

校長 太田 正寿

山々の紅葉も色づき始め、朝晩の寒さも肌を感じる今日この頃、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日延期になっておりました「全校ハイキング」を実施いたしました。当日は最高の天気にも恵まれ、楽しく有意義で、充実した学習活動を全校児童が行うことができました。

今回の遠足のグループは、例年通り、縦割りグループ(1年生から6年生までが一緒のグループ)をつくり実施いたしました。6年生が各グループのリーダーとなり、子どもたち同士、互に関わり、支え合いながら「やさしさいっぱい蒔田っ子」が活動する姿が随所に見られ、子どもたちはもちろんのこと、私たち教職員も心地よい気持ちになることができました。手をつないで仲良く歩く姿、しりとりをしながら楽しい会話をする姿、1年生にやさしくバンダナを結んであげる姿、出会った方々に元気よくあいさつをする姿、公園内では、6年生のリーダーシップのもと、ウォークラリーをみんなで楽しくする姿、苦手な子やグループに上手に入れない子に手を携える6年生の姿等、縦割り活動のねらいである、関わり合う喜びの獲得や高学年が主体的に取り組む活動が立派にできていたと思います。

「あっという間だね」「楽しかったね」「また、来たいね」等、帰路の子どもたちの笑顔や弾むような言葉を聞くと、全校ハイキングのねらいが達成できたなと思い、うれしくなりました。また、到着式では5年生の代表児童が、来年は自分たちがリーダーシップをとってがんばっていきたいと力強い決意をしていました。先輩から後輩へのバトンが引き継がれた場面です。

これらの活動を通して、低学年の子どもたちは、「人と関わることが好き」「人と関わることは楽しい」と感じ、高学年の子どもたちは、「自分から他の人に働きかけられる喜びや責任感」「自分は他の人の役に立っている喜びや感謝の気持ち」等の思いや自信、誇りを持つことができたのではないのでしょうか。そして、このような関わり合いを多々体験することで、他者理解、規範意識等の社会性の基礎を育てていくことができると、あらためて確信することができました。

日頃の子どもの学校生活の様子を見ていると、自分の考えを主張し合ったり、相手の思いを受け入れられなかったりして、トラブルを起こす様子が時々見受けられます。相手の立場になって考えることは、大人でも難しいことです。だからこそ、子どものうちから「自分は一人ではない、人と人とか関わりながら生活している。」ということ、このような「縦割り活動」等を通して、しっかりと理解していくことが大切だと思います。

課題や改善点もあると思いますが、まずは私たち教職員がこの全校ハイキング・縦割り活動のよさをしっかりと理解し、来年度以降もよりよいものへと構築できるよう努力してまいります。また、今回の実施に当たり、子どもたちの安心・安全のために、久良岐公園までのポイントに立ち、やさしく、心温まる対応をいただいたPTAの皆様方には心からお礼申し上げます。

